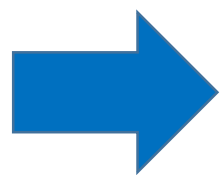


日本IBMとのIT人材育成に係る連携協定

Society5.0の到来



IT (IoT、AI等) 人材の育成が急務

教育局 神奈川工業高等学校 (3年)



産業労働局 産業技術短期大学校 (2年)



3者による
連携協定の締結



日本IBM

日本IBMが、社会貢献活動として、高校と短大校と連携、ITスキル、課題解決スキル等を、5年間で学ぶ教育モデル P-TECH を展開。

(P-TECH : Pathways in Technology Early College High Schools)

全国初
県立校の5年間教育モデル
(講話、メンタリング、インターンシップ等)

令和3年4月スタート

IT技術者を育成することにより、県内企業のIT人材不足に対応し、デジタルトランスフォーメーション推進を支援する

IT人材教育モデルP-TECHについて

神奈川県におけるP-TECHのスキーム



教育局神奈川工業高等学校

【教育期間】 3年間

【実施学科】 電気科

※希望生徒対象

【実施開始】 令和3年4月を想定

※就学支援金制度を利用した授業料免除



産業労働局産業技術短期大学校

【訓練期間】 2年間

【実施予定学科】

情報技術科、電子技術科、制御技術科、
生産技術科、産業デザイン科

【実施開始】 令和6年4月を想定

※授業料減免を利用

県内企業へ就職

IoTエンジニア



通信エンジニア



ロボットエンジニア



日本IBM（他連携企業）

- ・ 5年間を通じた先端技術、先端スキルの提供
- ・ IT業界への就労と活躍の道筋を支援

活動例

カリキュラム作成の援助

実感経験の提供 メンタリング、職場訪問、講話

実践経験の提供 インターンシップ



IT人材教育モデルP-TECHについて

P-TECHの定義

Pathways in Technology Early College High School

～高校から、成長産業であるIT業界やIT関連職への就労と活躍の道筋を作る～

特徴

- 教育行政、学校（高等学校、産業技術短期大学校）、企業がパートナーシップを結び、協働してIT人材育成に取り組む
- 高等学校教育3年間と上級学校教育2年間（短期大学校、専門学校など）を統合した5年間の教育プログラム
- 連携企業は、メンタリング、職場訪問、社会人基礎力講座やプロジェクト実習等を提供し、生徒の実践スキルの修得を支援する
- 経済的に厳しい家庭の生徒であっても、上級学校への道が閉ざされないよう、奨学金等の制度を活用する
- 世界24カ国220校以上で実施中。600社以上の企業が参加し、学校支援を行っている

IT人材教育モデルP-TECHについて

期待できること

○企業から世界的先端技術、先端スキルの提供を受けられる。

○P-TECHに参加する、世界各国の生徒と触れ合うことが可能となる。

○家庭環境に左右されず、自己実現に向け大きく成長できる。

○学校がITスキルを学ぶ場となり、産業教育が活性化される。

将来のP-TECH事業

- ・ かながわP-TECHへの参画企業を増やし、多様な企業による学校支援の体制を整えていく。
- ・ できる限り神奈川県内の工業系高校や定時制工業科への拡大を図っていく。
- ・ 令和6年4月から、産業技術短期大学校が進学希望者を受入れ、2年間の専門訓練を行い、実践技術者を育成する。



県内企業のIT人材不足へ対応し、DX推進への支援に繋げる